田中光顕　年表

江戸時代

- 1840 年
- 1843 年（天保 14）　誕生
  土佐の国佐川
  （現在の高知県佐川町）
  土佐藩家老深尾家家臣の
  浜田家の長男
  （父：充美　母：献子）
  幼名：辰也
- 1850 年
- 1853 年（嘉永 6）　黒船来航
- 1860 年（安政 7）　桜田門外の変
- 1860 年
- 1861 年（文久元）　土佐勤王党に参画
  （武市瑞山ら設立）
  「土佐勤王党血誓書」に
  浜田辰也名
  1863 年（文久 3）
  土佐勤王党の獄
  叔父の那須信吾は
  吉田東洋暗殺の実行犯
  1865 年頃には
  土佐勤王党壊滅
- 1864 年（元治元）　佐川を脱走　長州・大阪へ
  1865 年 (慶応元）23 歳
  高杉晋作の弟子に
  脱藩後　名前を田中顕助に
- 1866 年　第 2 次長州征伐　薩長同盟
- 1867 年（慶応 3）近江屋事件（京都）　坂本龍馬・中岡慎太郎　暗殺
  中岡慎太郎の最期に谷干城等と共に立会う
  当時：陸援隊副将
- 1868 年　明治維新

明治時代

- 1870 年
- 1871~1873 年（明治 4~6）　岩倉具視使節団に同行
  理事官兼特命全権大使会計
  として参加
- 1877 年（明治 10）　西南の役
- 1877 年（明治 10）
  西南の役
  岩崎弥太郎と共に
  軍需物資の調達に活躍
- 1880 年
- 1885 年（明治 18）　第一次　伊藤内閣発足
- 1889 年（明治 22）　東海道線　全線開通
- 1890 年（明治 23）　第一回帝国議会
- 1890 年
- 1894~1895 年（明治 27~28）　日清戦争
- 1900 年（明治 33）
  中央刀剣会設立に尽力
- 1900 年（明治 33）　嘉仁親王（大正天皇）ご成婚
- 1900 年
- 1898~1907 年（明治 31~40）　蕉雨園建設
  （棟梁・大河喜十郎）
- 1899~1908 年（明治 31~41）　東宮御所（赤坂離宮）建設
- 1898~1899 年　田母沢御用邸建設
- 1904 年　日露戦争出征
- 1904~1905 年（明治 37~38）　日露戦争
- 1907~1909 年（明治 40~42）　古谷荘建設
- 1909 年（明治 42）
  土陽美術会会頭
- 1910 年
- 1912 年（明治 45）　明治天皇崩御

大正時代

- 1914~1918 年（大正 3~7）　第一次世界大戦
- 1914 年（大正 3）
  青山荘用地購入
  1918 年（大正 7）
  青山荘完成
- 1920 年
- 1923 年（大正 12）　関東大震災
- 1924 年（大正 13）
  小田原別邸和館完成
  （洋館の建設は 1937 年
  ：現　小田原文学館）
- 1925 年（大正 14）
  佐川町青山文庫
  （当時川田文庫）
  へ運営資金、蔵書
  を寄付
- 1926 年（大正 15）　大正天皇崩御

昭和時代

- 1929 年（昭和 4）　世界恐慌
- 1930 年
- 1932 年（昭和 7）　満州国建国
- 1933 年（昭和 8）
  古谷荘
  満州国皇帝
  溥儀献上話
  暗躍：長尾欣也
  （長尾よねの夫）
- 1929~1930 年（昭和 4~5）　多摩聖蹟記念館建設
- 1928~1930 年　常陽明治記念館建設
- 1936 年（昭和 11）　2.26 事件
- 2.26 事件青年将校
  助命に奔走
- 1936 年（昭和 11）
  古谷荘売却
  講談社社長野間清治氏へ
- 1937 年（昭和 12）
  日本軽金属（蒲原町）
  の誘致に助力
- 1938 年（昭和 13）
  角倉了以翁紀功碑
- 1939 年（昭和 14）　第二次世界大戦勃発
- 1939 年（昭和 14）　97 歳蒲原にて逝去
- 1940 年

田中光顕　経歴

- 0 歳　誕生
- 下士の身分
- 19 歳　土佐勤王党
- 22 歳　脱藩
- 26 歳　兵庫博知事　伊藤博文の　客分
- 27 歳　大蔵　少丞
- 29 歳　辰子夫人と結婚
- 31 歳　陸軍会計監督
- 33 歳　辰子夫人　死去
- 34 歳　伊与子夫人（元家老深尾鼎の娘）と結婚
- 35 歳　西南征伐軍団　会計部長
- 43 歳　内閣書記官長
- 45 歳　子爵　会計検査院長
- 47 歳　警視総監
- 48 歳　貴族院議員
- 49 歳　宮中顧問官　帝室会計審査局長
- 50 歳　学習院院長（兼任）
- 53 歳　宮内次官
- 56~67 歳　宮内大臣
- 63 歳　伊与子夫人　死去
- 65 歳　伯爵
- 66~68 歳　小林孝子と暮らす
- 中村邨子と連添
- 70 歳　古稀の会
- 岩淵紀行「裾野の冬」　古谷荘にての和歌の会記録
- 76 歳　蒲原青山荘へ転居
- 86 歳　「維新風雲回顧録」発刊
  「米寿の祝いの宴」
  （於：東京青山会館）
- 91 歳頃　長尾よね認知
- 94 歳　「維新夜語」発刊
- 97 歳　逝去

土佐の国佐川で成長

長州へ　勤王の志士として　大阪・京都等を奔走

大蔵へ　陸軍へ　政治家へ　宮内省へ　岩淵へ　蒲原へ

維新後を田中光顕に改名

田中光顕　人脈

土佐藩志士

- 武市瑞山：下士・土佐勤王党（1865 没）
- 坂本龍馬：下士・土佐勤王党 ---- 坂本龍馬：海援隊 (1867 没)
- 中岡慎太郎：下士・土佐勤王党 ---- 中岡慎太郎 : 陸援隊（1867 没）
- 谷干城　：上士 ---- 谷干城：陸援隊
- 佐々木高行：上士
- 岩崎弥太郎 ---- 岩崎弥太郎 : 海援隊

長州藩志士

- 高杉晋作 : 奇兵隊（1867 没）
- 伊藤博文 : 奇兵隊 ---- 伊藤博文
- 山縣有朋 : 奇兵隊
- 井上馨
- 木戸孝充（桂小五郎） ---- 木戸孝充
- 片山東熊 : 奇兵隊

岩倉使節団

- 佐々木高行
- 伊藤博文
- 木戸孝充
- 岩倉具視
  大久保利通

近代陸軍始動

- 谷干城
  ：陸軍大佐
- 山縣有朋
  ：陸軍大輔
  後に陸軍卿

西南の役

- 岩崎弥太郎（三菱）
  : 軍事輸送を担う
  1885 年　病没
- 山縣有朋
  ：実質的な総指揮
- この時
  木戸孝充：病没
- 今村長賀

第一次伊藤内閣

- 谷干城
  ：農商務大臣
- 佐々木高行
  ：宮中顧問官（閣外）
- 伊藤博文
  ：内閣総理大臣
  （腹心：西園寺公望）
- 山縣有朋
  ：内務大臣
- 井上馨
  ：外務大臣

文化振興交流

- 徳富蘇峰（1867 ～ 1957）
  :「國民新聞」主宰　ジャーナリスト
  大著「近世日本国民史」
  日露戦争のプロパガンダを展開
  古谷荘、宝珠荘訪問
- 宮中御歌所
  佐々木信綱：歌人
  池辺義象：国文学者
- 土陽美術会
  廣瀬東畝（1875 ～ 1940）：日本画家
  高知県佐川町生まれ（光顕と同郷）
  本山白雲（1871 ～ 1952）彫刻家
  高知県宿毛市生まれ。桂浜　坂本龍馬像作者

- 日露戦争に反対 ---- 谷干城：1911 年没
- 佐々木高行：1910 年没
- 三菱社長：
  1885 年～
  岩崎弥之助
  刀剣等美術品収集
  「静嘉堂文庫」創設
- 三菱社長：
  1894 年～
  ：岩崎久彌
- 1907 年　麒麟麦酒設立
- （1914 年東京駅完成）
  丸の内エリアの開発
- 伊藤博文：1909 年没（暗殺）
- 今村長賀：
  岩崎弥之助の刀剣顧問
  中央刀剣会を創立
- 山縣有朋（1878）
  :「椿山荘」
  （蕉雨園隣接地）へ
- 1894 ～ 1896 年
  無鄰菴（京都）建設
  （作庭：小川治兵衛）
- 1907 年
  古希庵（小田原）へ 1922 年没
- 西園寺公望（1920 ～）
  ：興津に坐魚荘建設し住まう
- 井上馨（1886）
  興津に別荘長者荘建設
- 井上馨：1915 年没
- 片山東熊 : 東宮御所設計 ---- 片山東熊 : 1917 年没

- 田中光常（1924 ～ 2016）
  （田中光顕の孫）
  静岡市生まれ　日本初の動物写真家
- 1929 年：伊豆長岡に三養荘建設
  （作庭：小川治兵衛）
- 長尾よね（田中光顕　庶子）
  1929 年（昭和 4）「若素」販売
  麦酒の絞り粕に含まれる酵母を活用
  北大路魯山人パトロン
  1931 ～ 1934 年扇湖山荘建設（鎌倉）
  （作庭：小川治兵衛・岩城亘太郎）
- 野間清治：講談社創業者
  野間道場・剣道の振興支援
  1936 年古谷荘購入
  蕉雨園購入